



プレスリリース / PRESS RELEASE

第 145 / 2567 (Aor. 67) 号

2024 年 10 月 25 日

首相が半導体委員会の議長に就任
積極的な戦略を展開し、タイを地域のリーダーに引き上げる

首相は、「国家半導体委員会」を設立し、自ら委員会の議長に就任しました。副首相のピチャイ氏が副議長、BOI 長官が事務局長を務め、半導体および先端電子産業を推進する戦略の策定を加速させています。官民の連携を強化し、人材の育成を急ぎ、投資に適した環境を整備することで、タイを地域の半導体ハブとして引き上げることを目指します。

BOI 長官ナリット・テートサティーンラサク氏によると、ペートンターン・シナワット首相は、2024 年（仏暦 2567 年）10 月 24 日に「国家半導体および先端電子産業政策委員会」の設立を命じる命令に署名しました。この委員会の議長は首相が務め、副議長にはピチャイ・チュンハワチラ副首相が任命されました。また、政府および民間から専門家が委員として加わることが決定されました。参加者には、外務大臣、高等教育・科学・研究・イノベーション（Aor. Wor.）大臣、デジタル経済・社会大臣、エネルギー大臣、工業大臣、国家経済社会開発委員長、職業教育委員長、タイ工業連盟会長、M.L チャヨティット・クリダコーン氏、ウティナン・チアムサクシリ氏、スパコン・コンソムチット氏が含まれており、BOI 長官が委員兼事務局長を務めます。

半導体委員会は、半導体および先端電子産業（Semiconductor and Advanced Electronics）の政策方針と開発目標の策定を担うほか投資促進、適切な優遇措置の策定、高等教育および職業教育における高度な人材育成、サプライチェーンの強化、産業強化に必要なエコシステムの発展を含む、包括的で具体的な産業開発ロードマップを策定します。さらに、半導体委員会は、半導体および先端電子産業の発展に関する各政府機関の計画およびプロジェクトを審議し、閣議承認のために提案します。また、各種施策の統合を図り、運営の成果を具体的に達成するためのモニタリングと評価も行います。

なお、半導体および先端電子産業は、グローバル戦略産業であり、各国間での激しい投資誘致競争が繰り広げられています。これは、それらがコンピュータ、スマートフォン、電気自動車、スマート家電、医療機器、自動化システムおよびロボット、さらには AI 技術を含む、ほぼすべての高度なテクノロジー製品やプロセッサの中核を成す存在だからです。半導体および先端電子産業は、今後も著しい成長が見込まれ、国際的な技術競争の激化に伴い、その重要性はさらに高まる見込みです。

半導体委員会の設立は、タイが明確な産業戦略と発展計画を策定するための重要な出発点であり、タイの電子産業のサプライチェーンを充実させる役割を果たします。さらに、首相自らが委員会の議長を務めることで、政府が、タイを地域における半導体および先端電子産業のリーダーへと成長させようとする意欲が示されています。また、これにより政府の各種政策や施策の調整が一貫性をもって速やかに実施されるようになり、共通の目標に向け、世界市場での競争において重要となるスピード感のある運営が可能になります。

“BOI は全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”

